

『新病院長に聞く』本橋 雅壽 病院長



もとはし まさとし

昭和58年北海道大学医学部医学科卒業。
同年北海道大学医学部外科学第二講座入局。

北大病院および道内関連施設にて勤務。
平成5年フランス・アンリーモンドール病院・研究所に留学。

平成7年函館中央病院心臓血管外科科長。

平成17年N T T 東日本札幌病院心臓血管外科科長。

平成19年函館中央病院心臓血管外科科長。

平成20年1月同病院診療部長、同年4月同病院診療部長兼ICUセンター長。

平成21年同病院副院長。

平成29年12月同病院病院長として現在に至る。

日本心臓血管外科学会国際会員
心臓血管外科専門医・修練指導医
日本胸部外科学会評議員
日本外科学会専門医・指導医
医学博士

脊椎センターが高い評価を受けて
いる。「当院の昨年の分娩数は6
25件で、地域で出生した未熟児
の大部分を受け入れています。心
臓血管外科では平成15年より先天
性疾患に対する手術を実施して
いますが、道南圏の先天性心疾患
はまず当院小児科に集まることも
あり、心臓血管外科で治療し、当
院小児科にて術後のフォローを行
っています」。道南圏の先天性心
疾患の患者を治療できることは、
患者や家族の負担軽減に大きく貢
献している。

急性期病院としては市内の2次
救急輪番を担うほか、がん診療に
取り組んでいます。

もとはし まさとし
昭和58年北海道大学医学部医学科卒業。
同年北海道大学医学部外科学第二講座入局。
北大病院および道内関連施設にて勤務。
平成5年フランス・アンリーモンドール病院・研究所に留学。
平成7年函館中央病院心臓血管外科科長。

北大との協力関係で
診療体制の充実も前進

は北海道大学から派遣を受けてい
る。「北大からの派遣が全診療科
に及ぶのは極めて稀なケースです
が、北大との協力関係による内科
系医師の増員など診療体制の充実
も大きく前進しています。内科の
強化については、総合診療科を目
指した取り組みの一貫として、専
門医機関の総合診療専門研修プロ
グラムもスタートさせます」。こ
れまで医学生の臨床実習は大学病
院を中心に行われていたが、一般
病院で診療される一般的な疾患を
学ぶ必要もある。同病院では北大
医学部医学科の依頼により、医学
学生の臨床実習を受け入れ、実習を

ついても実績が評価され、平成26
年北海道がん診療連携指定病院の
指定を受けている。「当院は総合
的かつ専門的な急性期医療を24時
間提供できる体制を持つ病院です。
得意分野の小児・周産期医療に力
を入れていくことはもちろんです
が、がん医療や救急医療など、多
くの診療科のある総合病院的な機
能を有している強みを活かした診
療を継続していきます」。

函 館中央病院(函館市本町)の
新しいトップとして、昨年
12月1日に就任したのが本
橋雅壽病院長だ。日本心臓血管外
科専門医および修練指導医である
本橋病院長は、同学会の国際会員
のほか、日本外科学会専門医・指
導医などの資格を有し、学会活動
では日本胸部外科学会の評議員な
どを務めている。

昭和58年北海道大学医学部医学
科卒業後は同大学医学部外科学第
二講座に入局し、北大病院および
道内関連施設にて勤務する。平成
5年にはフランス・アンリーモン
ドール病院・研究所に留学。帰国
後は函館中央病院心臓血管外科科
長やN T T 東日本札幌病院心臓血
管外科科長を歴任。20年函館中央
病院診療部長兼ICUセンター長、

脊椎センターが高い評価を受けて
いる。「当院の昨年の分娩数は6
25件で、地域で出生した未熟児
の大部分を受け入れています。心
臓血管外科では平成15年より先天
性疾患に対する手術を実施して
いますが、道南圏の先天性心疾患
はまず当院小児科に集まることも
あり、心臓血管外科で治療し、当
院小児科にて術後のフォローを行
っています」。道南圏の先天性心
疾患の患者を治療できることは、
患者や家族の負担軽減に大きく貢
献している。

函 館中央病院(函館市本町)の
新しいトップとして、昨年
12月1日に就任したのが本
橋雅壽病院長だ。日本心臓血管外
科専門医および修練指導医である
本橋病院長は、同学会の国際会員
のほか、日本外科学会専門医・指
導医などの資格を有し、学会活動
では日本胸部外科学会の評議員な
どを務めている。

道南地域で唯一の総合周産期母子医療センターや
全国トップクラスの実績を持つ脊椎センターが高評価

多くの診療科のある総合病院的な機能の強みを活かす

函館中央病院病院長
本橋 雅壽

21年には副院長に就任した。
同病院の心臓血管外科は平成6
年の開設以来、北海道大学循環器
外科のバックアップを受け、道南
における心臓血管外科領域の基幹
施設として診療を行ってきた。虚
血性心疾患に対してはバイパス手
術に加えて積極的に弁形成術・左
室形成術を併せて行い、術後のQ
OL・遠隔成績を高める治療を行
つている。

「胸部大動脈瘤や解離性大動脈
瘤手術は、現代でもリスクの高い
手術の一つですが、診断から手術
まで一貫して当科で担当、破裂な
どの緊急手術にも対応してきまし
た」。大動脈基部拡張症に対して
も大動脈弁を人工弁に置換する大
動脈基部置換術や自己弁温存手術
などで良好な成績をおさめてきた。

本橋病院長は「手術は低侵襲で確
実な治療効果、QOLの回復が早
い方法を選択し、実績を重ねてき
ました」と語る。

地域医療の先駆的な役割と
医療の慈善事業に取り組む

市内および近郊の町村を含む道南
全域の住民検診を開始している。

病院建物の増改築では、昭和48年
の中央棟を完成後は昭和54年の北
棟と平成2年の東棟、平成9年に
は立体駐車場を完成させ、平成12
年の南棟増築と同時に院内改修も
進め、アメニティの向上と診療機
能の充実を追求してきた。

「2020年に創立90周年を迎
えた渡島管内の巡回診療の実施や
函館市の歳末無料診療への協力、
医師や看護師を市内小学校に派遣
して診療に当たるなど、地域医療
の先駆的な役割と医療の慈善事業
に熱心に取り組んできた。また昭
和44年には道南でいち早く「成人
病検診車」を導入するなど、函館

市内および近郊の町村を含む道南
全域の住民検診を開始している。

病院建物の増改築では、昭和48年
の中央棟を完成後は昭和54年の北
棟と平成2年の東棟、平成9年に
は立体駐車場を完成させ、平成12
年の南棟増築と同時に院内改修も
進め、アメニティの向上と診療機
能の充実を追求してきた。

「2020年に創立90周年を迎
えた渡島管内の巡回診療の実施や
函館市の歳末無料診療への協力、
医師や看護師を市内小学校に派遣
して診療に当たるなど、地域医療
の先駆的な役割と医療の慈善事業
に熱心に取り組んできた。また昭
和44年には道南でいち早く「成人
病検診車」を導入するなど、函館

新院長に聞く